

地域の見守り活動について考える

茨城県生活協同組合連合会
茨城県保健福祉部福祉指導課
茨城大学人文学部市民共創センター

講演 吉田 太一 氏

「遺品整理の現場から：
最後まで孤立しないために」

「地域の見守り活動について考える」第2弾は、孤立死についての多くの著作のある吉田太一氏の講演です。合わせて、2014年3月に実施した「孤独死などの事例についてのアンケート調査」の結果も報告します。



吉田 太一 氏 (キーパーズ有限公司代表取締役)

大阪府生まれ。1994年、「トランスポート引越サービス/吉田物流株」を創業。2002年、「遺品整理」の必要性・将来性に着目し、全国初となる「遺品整理専門会社キーパーズ」を設立。「天国へのお引越しのお手伝い」をコンセプトに、国内7店舗、韓国1店舗で年間1500件に及ぶ遺品整理サービスを提供している。

また、「孤立死」現場から見聞きし実感した事柄を発信する活動も積極的に行っており、遺品整理人という独自の立場から社会問題を捉え問題提起。キーパーズの活動は、2011年の映画『アントキノイノチ』(モントリオール映画祭イノベーションアワード受賞)のモデルとして知られている。

著書は、『おひとりさまでもだいじょうぶ』(ポプラ社、2008年)、『遺品整理屋は見た!』(扶桑社、2009年)、『孤立死・あなたは大丈夫ですか?』(扶桑社、2010年)、『私の遺品お願いします。』(幻冬舎、2011年)、『遺品整理屋は見た!! 天国へのお引越しのお手伝い』(扶桑社、2012年)、『遺品整理屋が聞いた! 遺品が語る真実』(青春出版、2008年)など多数。

日時 2014年6月27日(金) 14:00~16:30

場所 JA水戸本店 (水戸市赤塚2丁目27) 大ホール

対象 どなたでも参加できます(申し込みは下記まで)

13:30 ~ 14:00
14:00 ~ 14:10
14:10 ~ 14:40
14:40 ~ 16:00
16:00 ~ 16:20
16:20 ~ 16:30

受付
開会あいさつ
調査結果報告:「孤独死などの事例についてのアンケート調査」井上拓也(茨城大学人文学部)
講演:「遺品整理の現場から:最後まで孤立しないために」吉田太一氏
質疑応答
閉会あいさつ

申し込み・問合せ先 茨城県生活協同組合連合会 古山 均・鈴木 克昌
電話: 029-226-8487 FAX: 029-224-1842
koyama@ibaraki-kenren.coop



茨城大学 茨城大学戦略的地域連携プロジェクト「孤独死防止のための見守り活動の推進についての研究」